

2016/4/1

しろひげ@Kurobane です。

4月になりました。

カレンダーをめくると、春がほとぼしり、別れの季節から、一夜をへだてて出会いの季節となります。

私事ながら、今年になって親しい人を相次いで喪くしたばかりに、なおいっそうこの思いが深くなります。

今はただ なつかしい  
あの人を 思い出す

誰かの 笑顔が見える  
悲しみの 向こう側に

『花は咲く』『花は咲くプロジェクト』

木々の芽が百花新緑に変わる生命力は、痛む心を励まし癒しながら、Turning a New Page 新たなページをめくらせてくれるでしょう。

社会も人も、集まっては散り、別れては出会うことで活力が生まれる、そんな繰り返しを思い知らされる4月です。

春の息吹に背中を押されて、歩み出さなければなりません。

こんな時は、寅さんの名調子がむしろ、そんな気分を明るくしてくれます。

「さまざまな、こと思い出す桜かな・・・昔の人は味のあることをいったものでございませぬ。満開の桜を眺めておりますと、わたくしのような愚か者でもさまざまなことを思い出します。思い起こせば、オヤジと大喧嘩をした16の春、これが見納めかと涙をこぼしながら歩いた江戸川の土手は、一面の桜吹雪でございました」

(第38作 『知床慕情』1987年8月公開)

一にもかかわらず笑うー そんな寅さんがつぶやく言葉と、「今ココニ」咲くしかないと言わんばかりの桜のけなげな姿が私をそっと慰めてくれることでしょう。

皆さんからの嬉しい命輝く便りを待っています。

黒羽根整形外科  
黒羽根洋司